

週刊 東北に黒糖を送ろう！大作戦

毎週火曜日発行予定

前線からみなさんへ⑤

〜日本エコツーリズムセンター代表理事・広瀬敏通氏による

「RQ市民災害救援センター活動レポート」より抜粋



*ボランティアウエーブ

4月17日、RQ現地本部長Tさんと、RQ現地の活動を当初から支えて下さっている宮城教育大のSさんの二人の誕生日を祝いました。ひげ面のオジさん二人ですが、満面の笑いで登米の本部(鱒淵小学校体育館)が包まれました。久しぶりの焼肉(K-1味の皆さんありがとう!)、ケーキの差し入れなどで豪華な夜になりました。

それに加え、夜のミーティングを担当してくれたTさんが思いっきり『ボランティアウエーブ』を発して進行してくれ、多くの埋もれていた「嬉

しい話」を共有することができました。

*元氣と笑顔で

今回の災害では現地で活動するボランティアが増えないばかりか、「危険だ」「心に傷が残る」などの声が大きく紹介されています。

しかし実際の現地ボランティアは連日、被災者の方々と心で触れあっている、強い共感や感動が生まれています。

この現実が、宮城から全国に届かないもどかしさを感じています。

そこで、我々現地ボランティア自身も大きな声を出すこと、帰宅してから周りに伝え続けることが大事だと思い、そんな一環として『ボ

*「戦地ではない」

人の感性は一樣ではないし、同じ場面で強い衝撃を受ける人もいます。災害地でのこうした衝撃は多少の差はあれ、誰にでも起きています。それ自体は悪いこと、避けるべきことではありません。こうした体験の積み重ねで育つのが人間です。

初動期には比較的タフな人が活動するのですが、ときには傷つきやすい人もいることは否めません。敢えていえば「トラウマ」と言われるほどの衝撃を受ける恐れのある人は、現地での活動には向かないかもしれませんが、東北を支援することとはどこでも誰でもできます。創意工夫をこらして、自分なりの貢献をしていただきたいと思います。

現地では、今も多くの人の手を必要としています。私たちはいっつも、一緒に働いてくれる仲間を待っています!



大川中学校にて泥出し作業NOW!



キレイになりました

災害ボ

ボランティアウエーブをどんどん発信しよう、とミーティングでも話し合いました。

写真もレポートもつぶやきも満載です!

日本エコツーリズムセンターホームページ
(<http://www.ecotourism-center.jp>)

4月25日(月)

もうしばらくお待ち下さい

今週も黒糖の発送もお休みいたします

もうしばらくお待ちください。

ご報告

先々週と先週と今週の三洋云々
*黒糖の箱を奮闘してくれた手回風見様
*「ソリタ」や「フロア」を開発してくれた皆様(いやホントに)!!
その他多くの皆様
ありがとうございます!
そして引き続きよろしくお願いします!



ニュース5910 *つぶやき名言集*



*「RQの物資配送先は、小さな避難所(大きな避難所は行政、ワシはその隙間を助ける)。写真の「林生活センター避難所」は、個人の住宅を拠点に、数十人が資材を分け合っている。梅が満開の道を鉄道の方に降りて行く道。」

*「TVなどで、『ボランティアは自己完結で』と強調され過ぎている。ワシは異論あり。僭越でしょ。人間平等。『迷惑は最小にしつつ、被災者とボランティアと一緒に助け合って、少しでも復興していこうよ』派間です。」
(4月5~10日・RQの活動に参加したskobayashiさんのブログより)

*「津波の力もすごいけど、人の力もすごいね」
(4月12日・15名のRQボランティアが泥出し作業を行った家で、家主さんの一言)

*「被災地ボランティアセンターに行って感激した一つに、仮設トイレの清掃ボランティアがある。RQボランティアが、衛生状態の悪い仮設トイレをロコミで探し、その清掃を行うというモノ。これは、誰かの指示で組織化された行為ではない。現場は今も学びと創造性に溢れている。」
(4月17日・showNAKANISHIさんのつぶやき)

募金箱設置場所(4月24日17時現在・順不同)...[東部地区]ラ・ティータ西表 宇南風見 大原港ターミナル(竹富町観光協会、八重山観光フェリー) 大富売店 [西部地区] ゆりみな(上原港ターミナル) スーパー川満 西部歯科診療所 santa nu neene カフェなかくい ダイビングチームうなりざき 民宿パイン館 民宿あけぼの館 民宿母家 マリンロッジアトク キッチン inaba 西表島エコツーリズム協会 紅露工房 浦内川観光 イルティフタデムラ 星砂スーパー 金城旅館 [波照間]